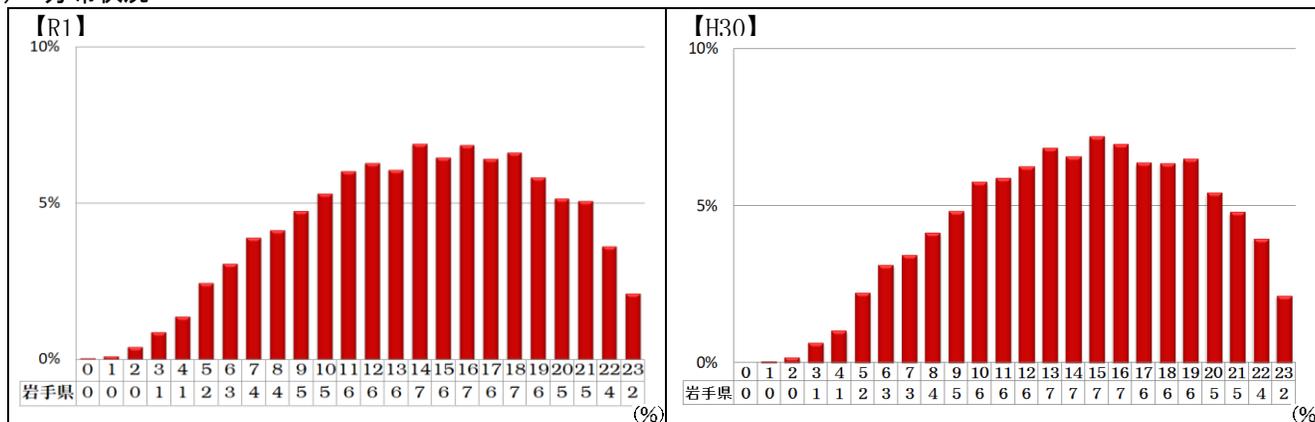


授業改善の手引 中学校第1学年英語

1 調査結果

(1) 分布状況



○ 問題数は昨年度と同数の23問。正答数の最頻値、中央値とも14問、平均正答率は61%です。

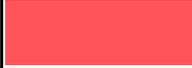
(2) 1年生CAN-DOリストの項目別正答率

領域		1年生到達目標 (CAN-DO LIST)		正答率	
理解する力	聞くこと	①	簡単な質問や指示等を聞いて、内容を理解することができる。	79.4	
		②	はっきりと話されれば、短い会話などを聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。	81.3	
		③	はっきりと話されれば、日常的な話題（学校行事、自分の好きなこと）について、概要を捉えることができる。	92.8	
	読むこと	①	日常生活の身近な単語や簡単な文を理解することができる。	70.3	
		②	日常的な情報収集（広告やパンフレット、予定表等）について簡単な英語で書かれた文を読んで、必要な情報を読み取ることができる。	67.5	
		③	まとまった内容（手紙や紹介文等）の英文を読んで、大まかな概要を読み取ることができる。	58.6	
④		登場人物の心情や意味・内容が表現されるように音読することができる。	—		
表現する力	話すこと	やり取り	①	日常生活に関する基本的な表現を理解して問答することができる。	—
			②	人を誘ったり、依頼したり、指示したりすることができる。	—
			③	聞いて把握した内容について、問答することができる。	—
			④	相手に伝わるように、適切に強勢を置き応答することができる。	—
	発表	①	自分自身や身近な人々について、考えや気持ち、事実などを、相手意識をもって簡単な英語で伝えることができる。	—	
		②	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。	—	
	書くこと	①	英語の書き方のきまりに合わせて、正しく文を書くことができる。	35.4	
		②	語と語の区切りに注意しながら、英語の正しい語順で書くことができる。	62.0	
		③	自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりに注意して、簡単な英文で書くことができる。（例）自分自身、家族・友達等の身近な人、お気に入りのものについてなど。	52.6	
文字・語彙				49.7	

(3) 結果概要

- まとまりのある英文を聞いて、話の概要や要点を理解することについては概ね良好です。（大問2、3）
- 20～30語で構成される英文については、その内容を理解できる傾向にあります。（大問5、10）
- 正しい語順で英文を書くことや場面に応じた英文を書くことに課題が見られます。（大問13、14）
- 100語前後のまとまった英文の内容理解に課題が見られます。ある程度の語数からなる英文に多く触れたり、制限時間内に読み取ったりする取組の充実が求められます。（大問8、9）

小問別正答率

1年 英語	岩手県	関連する Gアップシート (1年)	正答率	選 択 No. (人)							出題 形式
				1	2	3	4	5	6	0	
				選 択	選 択	選 択	選 択	誤 答	正 答	無 回 答	
1	教室英語を理解して、情報を正確に聞きとることができる。(動作:look at ～, write down)		 79	1.7%	7.5%	79.4%	10.8%	0.4%	0.0%	0.2%	選択
2	日常的话题について、情報を正確に聞きとることができる。(動作:get up, make breakfast)		 83	0.8%	82.6%	14.0%	2.2%	0.3%	0.0%	0.1%	選択
3	日常的话题について、短い対話を聞き取り、情報を正確に聞き取ることができる。(日付)		 80	80.5%	11.8%	5.9%	1.4%	0.2%	0.0%	0.2%	選択
4	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を聞き取ることができる。		 93	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	92.8%	0.1%	記述
5	まとまりのある英文を聞きとり、説明の要点を理解することができる。		 81	4.2%	80.8%	5.3%	8.9%	0.6%	0.0%	0.2%	選択
6	短い英文を聞き取り、その内容を表す英語を正しく書くことができる。(library)		 20	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.5%	19.7%	16.8%	記述
7	対話文の内容を正しく読み取り、空欄に入る適切な語を選択できる。	26	 80	9.4%	4.1%	6.4%	79.6%	0.3%	0.0%	0.2%	選択
8	日常的话题について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。		 81	7.3%	4.7%	6.5%	81.0%	0.3%	0.0%	0.3%	選択
9	日常的话题について、簡単な文で書かれたものの内容(グラフ)を、正確に読み取ることができる。		 72	9.6%	71.7%	12.2%	5.6%	0.5%	0.0%	0.4%	選択
10	まとまりのある文を読んで、話のあらすじを理解することができる。		 59	10.2%	18.8%	58.7%	11.4%	0.5%	0.0%	0.5%	選択
11	まとまりのある文(ホームページ)を読んで、大切な部分を読み取ることができる。		 50	13.4%	20.1%	49.9%	14.7%	0.8%	0.0%	1.1%	選択
12	適切な英語を選び、自然な流れの対話文を完成することができる。		 75	3.5%	6.9%	13.7%	75.3%	0.3%	0.0%	0.3%	選択
13	適切な英語を選び、自然な流れの対話文を完成することができる。		 56	56.1%	10.7%	10.0%	22.1%	0.6%	0.0%	0.5%	選択
14	be 動詞を用いた肯定文を正しく書くことができる。		 45	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54.9%	44.7%	0.5%	記述
15	疑問詞を用いた疑問文を正しく書くことができる。	42	 53	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	46.0%	53.4%	0.6%	記述
16	文の書き方(語と語の区切り、文頭の大文字)にしたがって、文を正しく書くことができる。	21	 80	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.2%	79.7%	4.2%	記述
17	対話文の内容を正しく読み取り、正しい語順や語法を用いて、英文を正確に書くことができる。	27	 43	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	51.6%	43.5%	4.9%	記述
18	対話文の内容を正しく読み取り、正しい語順や語法を用いて、英文を正確に書くことができる。	37,38,46	 18	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	76.3%	17.9%	5.8%	記述
19	場面に応じた英文を書くことができる。(住んでいる都市を説明する)	37,38,70	 34	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	58.9%	33.7%	7.3%	記述
20	場面に応じた英文を書くことができる。(好きなスポーツを説明する)	37,38,70	 41	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	52.7%	40.7%	6.6%	記述
21	場面に応じた英文を書くことができる。(ペットの有無を説明する)	37,38,40,70	 14	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	74.4%	14.1%	11.5%	記述
22	人を紹介する文を書くことができる。	33,37,38,40,43,51	 62	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.7%	62.0%	11.3%	記述
23	紹介する人の特徴やその人に対する自分の気持ちについて書くことができる。	33,37,38,40,43,51,70	 53	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.3%	52.6%	12.1%	記述
			全体正答率	 60.8							

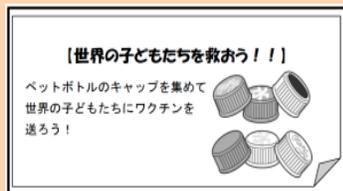
2 指導のポイント

(1) 概要をつかめるようにするために、ある程度まとまりのある英語を聞いたり、読んだりする機会を保障し、その後の言語活動を通して正確さの強化につなげましょう。

ア 問題の概要

2 英語の時間に、ある生徒が、3枚の絵を見せながら週末の過ごし方についてスピーチをしています。生徒は、1、2、3の絵をどのような順番で見せたのでしょうか。その番号を正しい順番になるように書きなさい。

1



<正答>

2 → 3 → 1 (92.8%)

<主な誤答例>

2 → 1 → 3 (6.3%)

他 (2.5%)

※誤答は抽出解答 315 人中の割合

2



リスニング原稿

What do you usually do on Sunday? Do you play tennis? Do you listen to music? I usually play basketball.

But we go to the park on recycling day. It's on the first Sunday of every month. We take bottles, books, magazines, and newspapers to the park.

We also collect a lot of bottle caps. We send the bottle caps to an NPO. Let's go together!

3



※正答率が高いが、本問が過去の出題傾向と異なるため、また全国学調においては同傾向の問題において達成状況が思わしくなかったため取り上げる

イ 誤答分析

話者が、通常の日曜日にバスケットボールをしていることについては、ほぼ全ての生徒が聞き取れています。take bottleと collect a lot of bottle caps の部分が似ていると捉えて混同してしまった生徒もいると推測されますが、ある程度のまとまりで内容をつかめれば該当する絵と結びつけることができます。



ウ 指導上の留意点

まとまりのある英語を聞いて話の概要をとらえるためには、話の特定の部分にとらわれることなく、全体像をつかみ取るような聞き取りや読み取りをする必要があります。場面設定を工夫しながら、聞いた後や読んだ後におおまかな内容を話したり、書いたりして説明するなど、何のために聞くのか目的をはっきりとさせた上で、聞き取り／読み取りのためのポイントを示したり、聞き取り／読み取りのポイント自体を生徒自身に考えさせたりすることが大切です。

【参考】平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査報告書 p.28 より 下線は県教委による具体的な指導としては、以下のような活動が考えられる。

- ・話の展開をとらえるキーワード(比較・対照を表す語など)に着目して聞く活動
- ・5W1Hに着目して聞く活動
- ・話の展開を時間軸に沿って整理する活動
- ・話の展開を簡単なイラストで表現する活動
- ・話の内容を示す絵を、展開に沿って並べ替える活動

指導展開例

単元の冒頭で

SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 の PROGRAM 4 のストーリー (p. 39、p. 41、p. 43) の音源とピクチャーカードを活用。



① Everyone, what do you usually do on Sunday?
How about you, Kenji?



② I play soccer with my teammates.



③ Oh, you play soccer on Sunday.
I like watching soccer games.
And you, Mika?



④ I cook.
I like cooking very much.



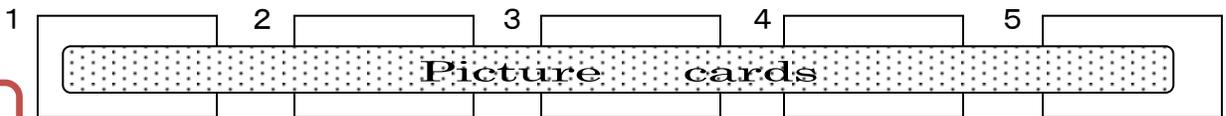
⑤ Who cooks on Sunday?
Raise your hands.
Oh, many of you like cooking.
What about Mike, Yuki and Takeshi?
Now listen to them, and put the picture cards in correct order.

*Mike, Yuki, Takeshi
… 教科書の登場人物

ポイント
まとまった英文を聞いたり、読んだりする機会を保障する

(話す)

教科書3ページ分のピクチャーカードを無作為に並べ、p. 39、p. 41、p. 43 を聞いた順に並べ替える。



聞く

概要

以後、本單元において、帯活動として上記のやり取りの内容を Small Talk で取り組む。

話す



Small Talk…小学校での取組を踏まえましょう!

やり取りの中で自分が発話した内容を書く機会を設定する。

(書く)

正確さの強化

I listen to music on Sunday.
.....
.....

ある1単位時間の授業で

SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 の PROGRAM 8 (p. 83) の音源とピクチャーカードを活用。

① Who is good at *origami*?
Oh, Kenji, are you?
What can you make?

② I can make *kaeru*.

③ You can make *kaeru*.
How do you say *kaeru* in English?
Does anyone know?

④ Yes, I know.
It's "frog."

⑤ Right. Thank you.
Now listen to the CD, and put the picture cards in correct order.

教科書のピクチャーカードを無作為に並べて示し、p. 83 の対話を聞き、展開に沿って並べ替える。

1 2 3

聞く

概要

音読練習等を経て

<パターン1> <パターン2>

p. 83 の内容をもとに再話する。

p. 83 のやり取りをもとに、対話する。
(Small Talk)

話す

例)

Look at this picture.
This is Daisuke.
He can't make a lion.
That's too difficult for him.
But he and Ms. Wood can make a crane.
She is good at *origami*.

例)

A: Are you good at *origami*?
B: So so.
A: I can make *shuriken*.
B: Oh, me too.
And I can also make a watch.
A: Really? That's too difficult for me.

(書く)

正確さの強化

発話した内容を書く機会を設定する。

【その他の例】 概要をつかむための聞き取り・読み取り

- ① 教科書本文を複数に分割したカード等を、ペアなどで正しい順番に並べ替える活動
- ② 無作為に並べられたピクチャーカードをもとにペア等でストーリーを作成した後、p.83 の対話を聞いて確認する活動

(2) 「何のために」を大事にした聞く必然性、書く必然性のある言語活動を行きましょう。

ア 問題の概要

- 4 英語の授業で、自分の一番好きな場所についてクイズ形式で発表しあっています。かおる (Kaoru) さんが気に入っている場所を英語 1 語で書きなさい。

(生徒のワークシート)

My Favorite Place (私のお気に入りの場所)	
Name	
Hiroshi	park
Sora	my room
Takumi	school
Kaoru	()

<正答> library (19.7%)

<主な誤答例> ※誤答は抽出解答 315 人中の割合

- ・ library の綴り間違い (17.5%)
- ・ box(es) (綴り間違い含む) (28.0%)
- ・ book(s) (綴り間違い含む) (11.7%)
- ・ 場所を表す単語 (7.0%)
school / park / house / station /
lunch room / garden / Mt. Iwate 他
- ・ その他 (3.8%)
lunch / ride / quiet / interesting 他
- ・ その他判別不能な記述 (5.4%)
- ・ 無答 (12.7%)

リスニング原稿

I like this place.

I usually go there after lunch with my friends.

It's very quiet.

I can read many books there.

I like books very much.

イ 誤答分析

約 4 割の生徒は、かおるさんの好きな場所が「図書館」であることを理解できています。その半数は正しく綴ることができましたが、一方の半数は正しく綴ることができませんでした。

また、問われていることが「お気に入りの場所」として捉えられなかった生徒が全体の半分を占めています。聞こえてきた英語 books を書いた生徒に加え、books[buks]を box[baks / bɒks]と聞き間違えた生徒も全体の 3 割ほどいると考えられます。

ウ 指導上の留意点

正しく話したり読んだりすることができる英語であれば聞いた際に理解しやすくなることから、意味内容の伴った発話や音読を十分に行うことが重要です。

また、自らすすんで聞きたくなるような仕組みにしたり、聞く必然性のある活動を位置づけたりすることも求められます。

聞いたことを書こうとする時、正しい綴りで書くことができないこともあります。そのように「正しく綴れない」という認識をした時はチャンスです。意味もなく機会的に書く練習をするよりも、書くことに対して能動的に取り組むことができます。

指導展開例

単元を通した帯活動で

Small Talk を帯活動として行い、好きな場所については英語でメモを取ることを課す。

活動

① Where is your favorite place?

③ Oh, you like music room.
Why?

⑤ I see.
I can spell room.
But I can't spell music.
How, how...あ～

② Music room.

④ I'm in the school band.
I go there after school every day.

ポイント1

生徒の困り感、つまずきに寄り添う
指導を考える

⑥ ○○-san, where is your favorite place?

⑧ Oh, your favorite place is music room, right?

相手が聞きたかったことを答えることが
できましたね! (内容)
十分伝わる答え方だけど、もっとよい答え
方ができそうですよ。(文法等)

⑦ Music room.

⑨ (あ!)
I like music room.

指導

⑩ That's right!

それから、相手が話した内容を繰り返して
確認している人もいてよかったですよ。
何か困ったことなどなかったですか。

⑪ 「どう書くんですか。」が言え
ませんでした。 How...

ポイント2

内容・文法等について適切なフィードバックを
与え、流暢性から正確性に目を向けさせる

⑫ How do you spell ~? じゃない?

活動

「活動」「指導」を経て再び活動へ



「活動」「指導」を経て再び活動へ

活動



⑬ Where is your favorite place?

⑮ Oh, you like library.
I like books too.
Library is l-i-b...
How do you spell library?

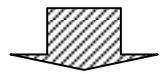
⑰ My favorite place is school ground.
I like soccer very much.

⑭ I like library.
I read books every day.

⑯ L-i-b-r-a-r-y. OK?
How about you?



⑱ I see.

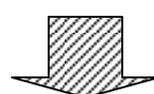


単元内において、相手を替えながら複数回この Small Talk に取り組む。



<パターン1>

上記のような「やり取り」の
パフォーマンステストを実施



<パターン2>

この Small Talk を生かして、
My favorite place を出題し合う



「話すこと [やり取り]」の言語活動
…互いの気持ちや考えを
英語で伝え合う



Small Talk
…活動→指導→活動
のプロセスを通して気づきを
促しながら繰り返す

(3) 多くの英文を読む経験を通して、必要とする情報を取り出すことができる力を身に付けさせましょう。

ア 問題の概要

6 ある生徒が、英語の授業でイラストを見せながらスピーチをする際の原稿をつくりました。このイラストを用いて発表する原稿として最も適切なものを、あとの1～4から1つ選び、その番号を書きなさい。



- 1 (7.3%)
- 2 (4.7%)
- 3 (6.5%)
- ④ (81.0%)

1 My family goes to the park every Sunday.
My father takes pictures of our dog.
My mother and I play with birds.
I love this time.

2 My family goes to the park every Sunday.
My father takes pictures of birds.
My mother and I play tennis.
I love this time.

3 My family goes to the park every Sunday.
My father takes pictures of flowers.
My mother and I take pictures of birds.
I love this time.

4 My family goes to the park every Sunday.
My father takes pictures of birds.
My mother and I play with our dog.
I love this time.

※比較的、正答率が高いが、本問で問われる力を高める手立ての例を紹介するため取り上げる

イ 誤答分析

選択肢として示されている各原稿の第1文並びに第4文に相違はなく、2文目、3文目の動詞句が表す内容を適切に捉えることができていないと考えられます。

ウ 指導上の留意点

簡単な語句で書かれた数文程度の英語を読み取るためには、既習の語や文法事項等の知識を活用して、文構造を適切にとらえたり、動詞等の内容語を正確に読み取ったりしながら、書かれているものの内容や、必要とする情報を取り出すことができる力を身に付けさせる必要があります。

【参考】平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査報告書 p.40 より

具体的な指導としては、以下のような活動が考えられる。

- ・音声で十分慣れ親しんだ語句や文を使った英語の場合は、口頭導入でおおまかな内容を理解してからではなく、初めから独力で読み取る活動
- ・絵やグラフなどの資料を含む英文を読み取る活動
- ・様々な形式の英語（広告、メニュー、メモ、メールなど）を読み取る活動
- ・読む時間を設定するなど、短時間で内容を把握する活動

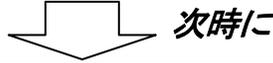
指導展開例

スピーチを発表した後で

イラストや写真を用いながらスピーチした原稿をリサイクル（再教材化）する。

※スピーチの発表会が終わったら、他の学級の生徒にも読んでもらうことを予め確認しておく。

学級において、イラストや写真を用いながらスピーチを発表し合う。



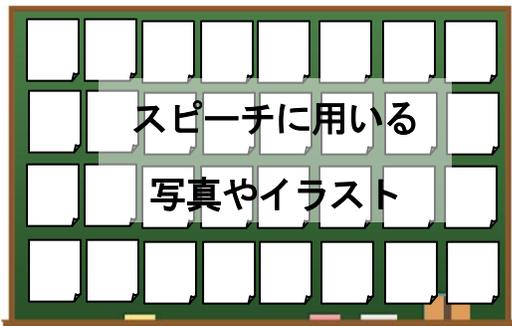
他学級で発表を終えたスピーチ原稿とイラスト・写真を用いて活動する。

【マッチング】

- 黒板等に、スピーチに用いたイラストや写真を貼り、番号を付す。
- 原稿を借りた学級の名簿をわたす。
- 原稿を一枚ずつ配付し、原稿と写真・イラストをマッチングさせて、名簿に番号を記入させる。
- 原稿をローテーションして、できるだけ多くの英文に触れる。
- 数人分の原稿を抽出して、内容や文法についてフィードバックを行う。

ポイント1
目的を明確にした読む活動を

ポイント2
内容・文法等について適切なフィードバックを



Aoyama Miho	5
Ito Takato	11
Endo Satsuki	8
.....	
.....	
.....	



同一学年に単学級しかない場合、上級学年が1年生の時に作成した原稿等を活用することもできます。

発表を行う単元の導入に先輩の原稿を用いて、目指す姿を確認してもよいでしょう。



同学年や先輩など身近な生徒の原稿を用いることで、「読んでみたい」「内容を知りたい」と能動的に読もうという気持ちが高まります。

上記とねらいは異なりますが、英文のリサイクルは三単現 s(es)等の復習、定着にも有効です。

原稿をメモ代わりにし、主語を三人称に代え、動詞等も適切に直しながら級友に紹介する。

例 (原稿)

Yoshida Kenji

I like animals.
 I have a dog.
 The color of my dog is white.
 So his name is "Shiro."
 I run with him every morning.
 I love him!

Kenji likes animals.
 He has a dog.
 The color is white, so the name is "Shiro."
 He runs with his dog every morning.
 He loves him.

(4) 意味のある文脈の中で文法事項を用いて繰り返し表現させ、正確に書けるようにしましょう。

ア 問題の概要

14 次の表の (1) ~ (3) は、ある男性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

(1) 住んでいる都市	London	(2) 好きなスポーツ	tennis	(3) ペット (pet) の有 (○) 無 (×)	×
-------------	--------	-------------	--------	----------------------------	---

(1)

<正答>	He lives in London. (33.7%)
<誤答>	※抽出解答 315 人中の割合
○解答類型 1	与えられた情報に基づいて解答しているが、動詞の活用形に誤りがあるもの(14.6%) He live in London. (3 単現 s の脱落)
○解答類型 2	与えられた情報に基づいて解答しているが、語や文法事項等に誤りがあるもの(22.5%) He live London. (前置詞 in の脱落) 等
○解答類型 3	上記以外の解答(21.3%) I live in London. 等
○無答	(7.3%)

(2)

<正答>	He likes tennis. (40.7%)
<誤答>	※抽出解答 315 人中の割合
○解答類型 1	与えられた情報に基づいて解答しているが、動詞の活用形に誤りがあるもの(19.7%) He like tennis. (3 単現 s の脱落)
○解答類型 2	与えられた情報に基づいて解答しているが、語や文法事項等に誤りがあるもの(17.8%) He is like tennis. / His likes tennis. 等
○解答類型 3	上記以外の解答(12.7%) I like tennis. Do you like tennis? 等
○無答	(6.6%)

(3)

<正答>	He doesn't have any pets. (14.1%)
<誤答>	※抽出解答 315 人中の割合
○解答類型 1	与えられた情報に基づいて解答しているが、一般動詞の否定形や動詞の活用形に誤りがあるもの(35.2%) He don't have any pets. / He doesn't has a pet. 等
○解答類型 2	与えられた情報に基づいて解答しているが、語や文法事項等に誤りがあるもの(16.5%) He doesn't have a pets. He doesn't have any pet. 等
○解答類型 3	上記以外の解答 (23.2%) He has a pet. I have no pets. He is not a pet. 等
○無答	(11.5%)

イ 誤答分析

与えられた情報に基づいて、3 人称単数現在時制の肯定文や否定文を正確に書くことに課題が見られます。

また、正しく主語を選択できない他、語順や前置詞の欠落などの語法等に誤りがあり、基本的な語や文法事項等を理解していないことが考えられます。

ウ 指導上の留意点

言語材料を正しく用いて、伝えたい内容が読み手に伝わるように正確に文を書くことができるように指導することは大切です。その際、特定の言語材料のみを用いて文を書かせるだけではなく、コミュニケーションの目的や場面、状況のある言語活動において、様々な個別の知識を活用させて文を書かせることを授業の中に位置付けるようにしたいものです。また、生徒の誤りについて生徒自身に考えさせるなどの指導を繰り返すことを通して、学習内容の理解が深まり、実際のコミュニケーションにおいて活用できる程度の技能を身に付けることにつながることを指導者として意識することが重要です。

【参考】平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査報告書 p.60 より

具体的な指導としては、次のような活動が考えられる。

- ・ 憧れの人物や友達紹介など、3人称を扱った言語材料を聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして様々な場面で繰り返し使用する活動
- ・ 生徒同士で書いたものを互いに読み合い、誤りに気づき、修正を加える活動
- ・ 「ローマ出身です。」のように、日本語では省略される傾向にある主語が何であるかを考える活動
- ・ 「誰が？ どうするの？ どこに？」のような教師の発問を通して、英文を書く際に基本的な文や文構造を確認する活動

指導展開例

Small Talk 等の後に書く活動

Small Talk やインタビューをした後に、書く活動を行う。

※解答類型1に焦点を当て、3人称単数現在時制を正しく用いて書く力を高める。

相手の発話内容を、3人称単数現在時制を用いて書く。



I like soccer.
② I often watch soccer games on TV, but I don't play it.

Yoshie

① Yoshie, what sport do you like?



ポイント1

意味のある文脈で、スパイラルに文法事項を扱う

ポイント2

繰り返し指導しながら正確性を高める

Yoshie likes soccer. She often watches soccer games on TV, but she doesn't play it.



より目的・場面・状況を明確にした活動の一例として、【参考資料2】平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査「授業アイデア例」pp.19-20も参考になります。ぜひ、授業に取り入れてみましょう。

【その他の例】

モノログ形式の教科書本文を3単現を用いて retell した後、rewrite する活動 → ペアで英文をチェック

本手引きに掲載したアイデアは「例」に過ぎません。目の前の生徒の実情を踏まえながらも、生徒の視点を大切にして、「自分が生徒の立場だったらこんな授業を受けてみたい」と思えるような授業づくりを進めていきましょう！

添付資料

【参考資料1】中1英語確認調査・県学習定着度状況調査【授業アイデア例】過年度版
【参考資料2】平成31年度（令和元年度）全国学調【授業アイデア例】英語抜粋版